

令和7年度高等部卒業証書授与式 「答辞」

やわらかな日差しに春の気配を感じるようになりました。今日というこの佳き日に、私たちは宇治支援学校を旅立ちます。

桜が咲き誇る校門を初めてくぐった日、期待と不安を胸に私たちは学校生活の一步を踏み出しました。あれからたくさんの季節を重ね、様々な思い出ができました。

修学旅行では、新幹線に乗って九州に行きました。九州の眩しい日差しやハウステンボスの美しい風景は、今でも鮮明によりみがり、仲間と一緒に過ごした3日間を思い出すと自然と笑顔が溢れます。

『うじ えん-JOYフェスタ』では、仲間と力を合わせて発表を作り上げました。うまくいかないことがあっても仲間がいると励まされ、みんなで協力することの大切さを学びました。

これから、人とのつながりを大切にしながら素敵な大人になれるように頑張ります。

私の六年間の学校生活を振り返り、最も心に残っている思い出は、信頼できる先生達に出会えたことです。先生達のおかげで毎日学校に通うことが楽しみでした。

授業の中では、一年に一度の窯業製品の販売会が強く心に残っています。全員で力を合わせたことに大きな達成感を味わうことができました。後輩の皆さん、これから宇治支援学校を支えてください。来年度入ってくる新一年生と一緒に、学校を明るく元気にしてくれることを願っています。

また、毎日の登下校を見守ってくださったスクールバスの職員の皆様、本当にありがとうございます。「いつてらっしゃい」「おかえり」という言葉に私たちはいつも安心して一日を過ごすことができました。

四月からは新しい事業所に通います。不安もありますが、この学校での思い出を胸に、自分のペースで一步步前に進んでいきます。

僕は、入学した時、クラスの仲間と仲良くできるか不安でした。しかし、一年生のぽっぽガーデンの花植え作業で花と一緒に買ったり土を耕したりして協力することで、その不安がなくなっていました。さらに、お弁当を食べる時間に楽しく話をしたことと仲間と話しやすくなりました。

現場実習では、学校で学んだ技術を実習で活かすことが出来ました。一年生では、報告・連絡・相談をすることが苦手でしたが、三年生になっていろいろな仕事に対応できることが増えて仕事にやりがいを感じるようになりました。

クラスの仲間は、自分達でクラスをもっと良くするために発言をすることが多くなり、目標に向けての行動の改善や実践を繰り返すことで何事にも協力し合えるクラスになりました。

家族や学校の先生方、三年間ずっと私たちを支えてくださってありがとうございました。今後は、家族や自分が幸せになるために働いて今までの恩返しをしていきたいと思っています。この宇治支援学校で学んだことを活かして、それぞれ社会人として頑張っていけます。

令和八年三月六日

卒業生代表 ぐらし健康コース 福岡 佑莉

ぐらし地域コース 山本 陽世

ぐらし職業コース 和田 昂